

心つないで

No.35

発行

2011年12月11日

東日本大震災
ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉
(ろっこう医療生協・本部内 Tel 078-802-3424)

第23陣・近藤師長(灘診)と森本常務(灘診)の大船渡報告<12/5~9>

■ 第23陣は近藤師長と森本常務が現地入りし活動しました。7月から始めた大船渡支援の最終チームです。

- ・12月5日、花巻空港周辺は吹雪。
- ・12月6日、大船渡市社協の皆さんが企画する碁石コミセンのお茶っこに参加。小中井仮設にお住まいの方と地域の方が参加。ストレッチ・きよしのズンドコ節の歌体操魚つきりゲームなどに私たちも参加。皆さんが持ち寄られたお漬物、なべやき、がんづきなどの地元のおやつをたくさんいただきました。【写真・下】



- ・7日、午前は三陸鉄道盛駅へ。午後は、東町公園と沢川仮設のお茶っこを訪問。東町公園では老眼鏡の無料配布で皆さん真剣に選んでおられました。皆さん「メガネは津波で流された」とのこと。沢川仮設では、鈴木さん、吉田さんにお会いできました。【写真・下】



7月
から
半年間
頑張
りて
きま
まし
た

今後
も続
ける
大船
渡へ
の
新た
な支
援

■ 一旦、収束

・7月から始めた大船渡への支援は、これまでの私たちでの行動は一旦収束します。

・しかし、支援活動はこれで終わるわけではありません。今後、現地の具体的なニーズを把握して、私たちの体制も検討し、新たな支援行動を計画します。職員・組合員のみなさんの引き続きのご協力をお願いします。(この「心つないで」もペースは緩和しつつ発行を続けます)

・大船渡は今ガレキの撤去の真っ最中。海際は、1m地盤沈下していて、満潮時に冠水するため、この高さまで盛り土するそうです。【写真・右】



〈上・今年4月の気仙沼〉



〈上・今年9月の気仙沼〉



〈上・今年12月の気仙沼〉

・8日、千葉先生の診療所の林看護師長さんに気仙沼を案内していただきました。気仙沼市内もガレキ撤去の真っ最中。しかし市内各所に船舶が。また海岸部の冠水もひどく、盛り土をした上に道路を通して、道路の両側は海水でした。【写真・左】



・12/9、昼前から降り出した雪は吹雪に。一時は前が見えないくらいの吹雪で、このままでは帰りの飛行機が欠航かと思いましたが、今はすっかりやんでいい天気です。【写真・上(花巻空港)】